

事務事業評価シート

事業番号	16					
事業名	老人いこいの家維持管理費	局名	健康福祉局			
		部名	保険高齢部			
事業開始年度	昭和46年度	課名	高齢者福祉課			
根拠法令等	相模原市立老人いこいの家条例・同施行規則	課長名	根岸和泉			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施					
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者：相模原市シルバー人材センター）					
	<input type="checkbox"/> 補助金（補助先：）					
	<input type="checkbox"/> その他（）					
事業概要	目的 (何のために)	高齢者の仲間づくりや生きがいの場所として「老人いこいの家」を設置し、高齢者福祉の増進を図る。				
	対象 (誰・何を対象に)	(1)60歳以上の者および老人クラブ (2)老人の福祉を増進することを目的とする事業を行う者で市長が認めたもの。				
	事業内容 (手段・手法など)	<p>○床面積 122㎡ 築36年(昭和50年開設)</p> <p>○定員 松の間(和室)30人、竹の間(和室)20人、梅の間(和室)12人</p> <p>○利用時間 午前9時～午後4時</p> <p>○利用料 無料</p> <p>○休所日 日曜日、祝祭日及び年末年始、市長の定める日</p> <p>○利用方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体登録後、隣接するシルバー人材センターに事前に申し込む。 ・南大野老人いこいの家は無人施設であるため、利用はセルフサービスとなっている。 ・予約は先着順、1か月の団体利用回数は2回まで。ただし、利用したい日の2週間前(14日前)になっても空き室がある場合は、3回以上の利用申込みができる。 				
	事業の必要性	南大野老人いこいの家は、身近で利便性の高い施設であり、高齢者や高齢者団体の仲間づくりや生きがいの場の拠点として利用され定着している。				
コスト			平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
	事業費(直接経費)		668 千円	670 千円	762 千円	
	人件費	正規職員	従事者数	0.01 人	0.01 人	0.01 人
			概算人件費	73 千円	73 千円	73 千円
		嘱託職員・臨時職員等	従事者数	0 人	0 人	0 人
			概算人件費	0 千円	0 千円	0 千円
	人件費 合計		73 千円	73 千円	73 千円	
	総事業費		741 千円	743 千円	835 千円	
市民一人あたりの事業費		0.00 千円	0.00 千円	0.00 千円		

		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
財源内訳	国・県支出金	0千円	0千円	0千円	
	受益者負担金	0千円	0千円	0千円	
	その他()	0千円	0千円	0千円	
	一般財源	668千円	670千円	762千円	
平成23年度 事業費の 主な内訳 (人件費を除く)	項目			金額	
	需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費)			129千円	
	役務費(施設賠償責任保険)			5千円	
	委託料(消防設備点検委託、管理運営委託、除草委託)			628千円	
千円					
活動実績1	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	利用可能日数	日	294	293	294
単位当たりコスト1	(総事業費/活動指標)	千円	2.5	2.5	2.8
活動実績2	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
単位当たりコスト2	(総事業費/活動指標)				
成果目標 (現状の成果及び 今後どのようにした いか、定量的な評価 で示す)	平成22年度は、平成21年度と比較すると利用者は減少しているが、平成23年度は、増加傾向にある。そのため、平成23年度の利用見込みは、150人程度増加すると見込んだ。				
成果実績	成果指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	利用者数	人	1430	1202	1350
特記事項 (事業の沿革等)					
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	築36年の木造建築で老朽化が進んでいることなど施設管理上の課題がある。将来は、現行の機能を維持しつつ、隣接するシルバー人材センターへの有償譲渡など他の方法による活用策を検討していく。				
評価	《評価の視点》	・ 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		・ 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	《評価の区分》	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 再構築 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡充			
	《評価区分の理由》	築36年の木造建築で老朽化が進んでいることなど施設管理上の課題がある。将来は、現行の機能を維持しつつ、隣接するシルバー人材センターへの有償譲渡など他の方法による活用策を検討していく。			
H24年度 予算への反映	現状維持とする。				
経営評価委員会 による意見	○見直し 利用状況の実態を把握・検証し、その結果を踏まえて、建物自体の老朽化も進んでいることから、有料化や廃止を含めた検討などが求められる。				